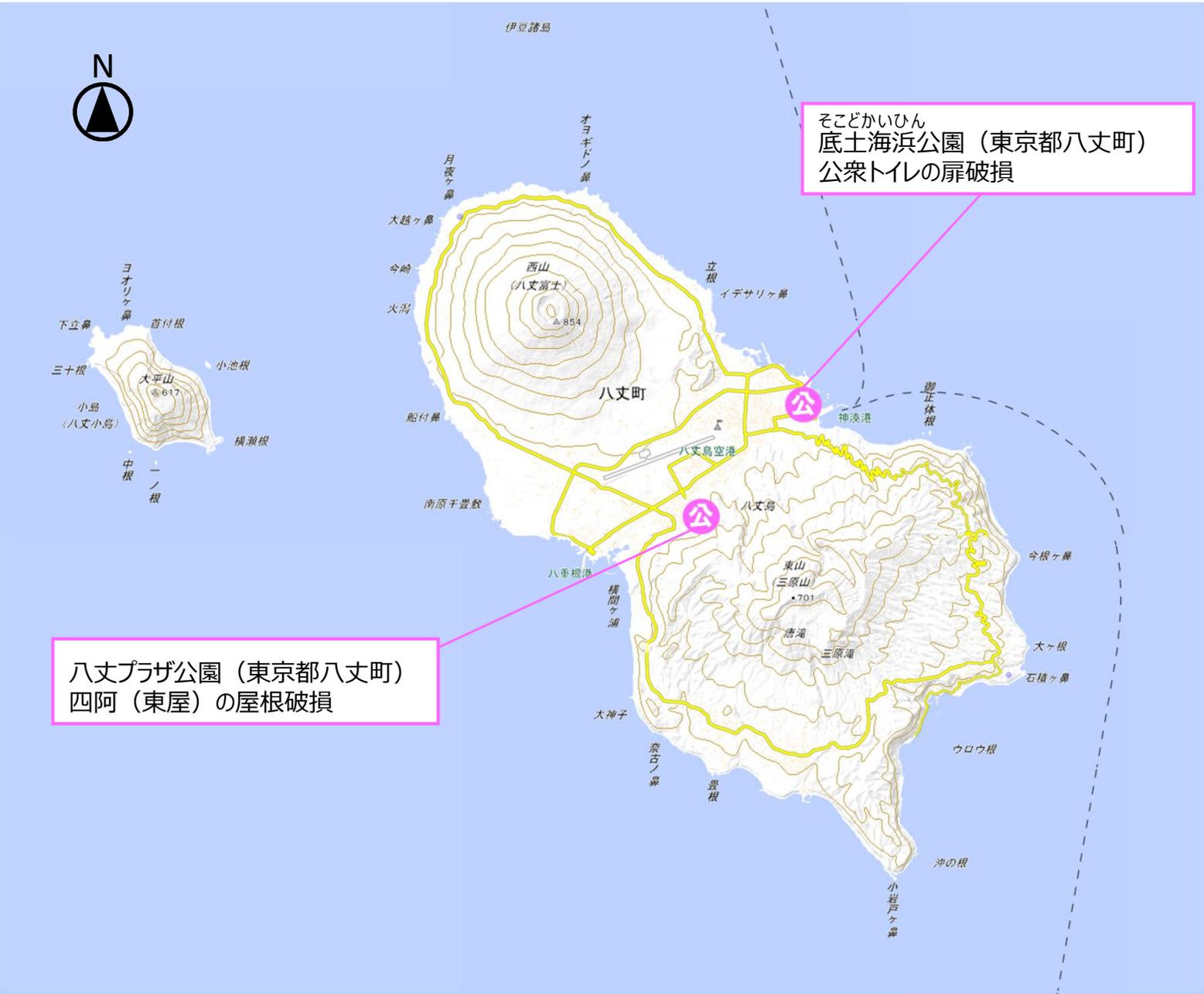


令和7年台風第22、23号による水道施設の被害状況等について

- 八丈町では土砂崩れ等により水道施設に大きな被害が生じ、当初約4,100戸が断水。11/10現在、12戸が断水。
- 断水解消に向け、関係機関が連携し応急給水、道路啓開、水道施設の被災状況調査・修繕・復旧作業等を実施中。
 - 応急復旧については、水量確保のため、取水地点の変更等に伴う可搬式浄水施設の設置や仮設の導水管の配管作業中。
 - 応急給水については、給水車3台で、8箇所を設置した仮設給水槽に充水し、住民が持参したポリタンク等へ給水中。海上保安庁は、10/11から巡視船を通じた給水支援を実施中（荒天時を除く）。
 - 東京都水道局は職員30名体制で、水道管の修繕や可搬式浄水施設の設置等、復旧の加速化を図っているところ。
- 国土交通省としては、TEC-FORCEを派遣し、防災ヘリ（八丈町長も搭乗）やドローンによる水道水源等の被災状況調査等を実施。一日も早い断水解消を目指し、引き続き町を支援。



【都市局】台風第22号及び第23号に関する被害状況



被災箇所数
国営公園： - 件
都市公園： 2 件
※いずれも人的被害無し

【凡例】
● 国営公園
● 都市公園

- ホットラインを8自治体(1都1町6村)と構築し、リエゾンを2自治体(1都庁1町)に派遣し自治体のニーズを把握。
- 被害の迅速な全容把握のため、防災ヘリコプター（あおぞら号(関東地整) 10/10、14、18）、TEC-FORCE（被災状況調査班【道路8班 ドローン4班】）の派遣により、被災した水道の水源地も含めた被災状況調査を実施し、復旧を支援。
- 東京都八丈支庁に、衛星インターネット装置を設置し通信環境を確保。
- 土砂災害専門家（TEC-FORCE高度技術指導班）による土砂崩落箇所等の調査を実施し、土砂災害の状況について助言を実施。

■自治体のニーズを把握(リエゾン)

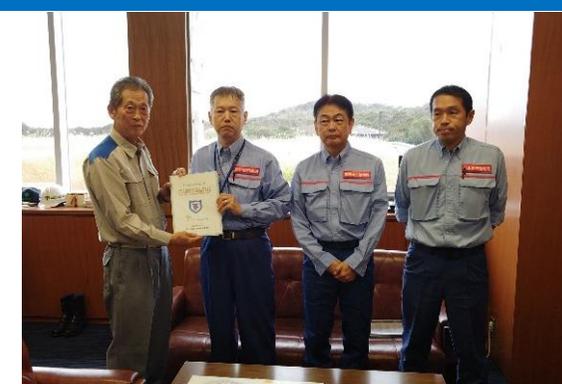
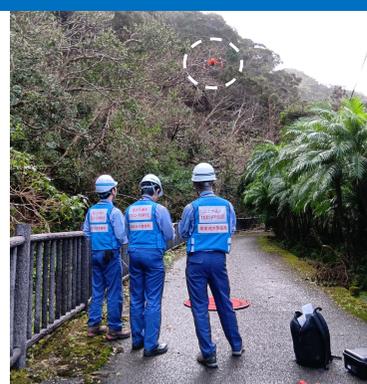


自治体職員との情報共有(東京都八丈町)

■被災状況調査



被災状況調査(東京都八丈町)



被災状況調査結果報告(東京都八丈町)

■土砂災害専門家(国総研)



土砂災害専門家による調査結果の説明(東京都八丈町)

■通信環境確保



衛星インターネット装置(東京都八丈町)

■被災状況調査(防災ヘリ)



東京都八丈町土砂流出状況
(防災ヘリ「あおぞら号」)

防災ヘリによる調査(東京都八丈町)